

地震調査研究推進本部政策委員会
第28回調査観測計画部会議事要旨(案)

1. 日時 平成13年6月25日(月) 10時30分～12時30分

2. 場所 永田町第3会議室(永田町合同庁舎3階)

3. 議題

- (1) 地震に関する基盤的調査観測計画の見直し等について
- (2) その他

4. 配付資料

- 資料計27-(1) 地震調査研究推進本部政策委員会
第27回調査観測計画部会議事要旨(案)
- 資料計27-(2) 地震に関する基盤的調査観測計画の見直しと
重点的な調査観測体制の整備について(案)
- 資料計27-(3) 地震に関する基盤的調査観測等の実施状況について

5. 出席者

部会長	長谷川 昭	東北大学大学院理学研究科教授
委員	安藤 雅孝	名古屋大学大学院理学研究科教授
	石井 紘	(財)地震予知総合研究振興会東濃地震科学研究所 副主席主任研究員
	岡田 義光	独立行政法人防災科学技術研究所企画部長
	笠原 稔	北海道大学大学院理学研究科教授
	金澤 敏彦	東京大学地震研究所教授
	菊地 正幸	東京大学地震研究所教授
	工藤 一嘉	東京大学地震研究所助教授
	小宮 学	気象庁地震火山部管理課長
	未広 潔	海洋科学技術センター深海研究部長
	杉山 雄一	独立行政法人産業技術総合研究所 活断層研究センター副センター長
	西 修二郎	国土地理院測地観測センター長
	萩原 幸男	日本大学客員教授
	本蔵 義守	東京工業大学大学院理工学研究科教授
	翠川 三郎	東京工業大学大学院総合理工学研究科教授
	八島 邦夫	海上保安庁水路部企画課長 (代理:加藤幸弘 海上保安庁水路部企画課地震調査官)
事務局	須田 秀志	文部科学省研究開発局地震調査研究課長
	中川 勝登	文部科学省研究開発局地震調査研究課 地震調査研究企画官
	森 滋男	文部科学省研究開発局地震調査研究課 地震調査管理官

吉田 秀保 文部科学省研究開発局地震調査研究課
地震火山専門官
渡部 康一 文部科学省研究開発局地震調査研究課課長補佐

6. 議事概要

(1) 開会

前回議事要旨(案)について、確認された。

(2) 地震に関する基盤的調査観測計画の見直し等について

事務局が修正・整理した報告書「地震に関する基盤的調査観測計画の見直しと重点的な調査観測体制の整備について(案)」に基づき、議論した。本日の議論及び各委員が持ち帰って検討した意見を事務局が整理し、再度、委員に確認し、取りまとめることになった。取りまとめた報告書については、地震調査研究推進本部のHPにより意見公募することになった。意見公募により寄せられた意見に基づき、再度、部会で検討し、政策委員会に報告することになった。

主な意見は以下のとおり。

- ・ データ流通については、「適宜各機関間での流通体制の整備」とあるが、流通は各機関間だけの問題ではないので、各機関と限定しない方がよい。
- ・ 重点的な調査観測体制の整備について(以下「重点的観測体制」という。)手法の羅列をすることに意味があるのかとの意見があるが、ある程度、具体的な表記が必要である。
- ・ 重点的観測体制についての手法については、ある程度、整理する必要がある。
- ・ 重点的観測体制についての手法については、実行時に対象地域毎に適用する手法の選定や組み合わせなど、具体的な検討を行う必要があり、その旨、報告書に記述する必要がある。
- ・ 地震動予測地図が作成された以後、改めて地域についての選定を行う際に、揺れの大きさだけでなく地震発生に伴う被害等、社会的な影響も含めて検討する必要がある。
- ・ 千島海溝は正しくは、千島・カムチャツカ海溝とすべきである。

(3) 閉会

次回、意見公募後、8月に開催する予定。